

ページ・行	誤	正
p. 540 下から 2 行目	設計に用いる載荷重として <u>活荷重等を考慮するものとし、その値は、一般に $q = 10 \text{ kN/m}^2$ とする。</u> 図-9.1.20……	設計に用いる載荷重として <u>現場条件により活荷重等を考慮するものとする。</u> 図-9.1.20……
p. 553 下 16 行目	・・・最大の地盤反力 <u>は</u> 、基礎地盤の・・・	・・・最大の地盤反力 <u>度</u> は、基礎地盤の・・・
p. 553 下 13 行目	ここに、 q_{\max} ：地盤に作用する最大の地盤反力 <u>は</u>	ここに、 q_{\max} ：地盤に作用する最大の地盤反力 <u>度</u>
p. 553 下 8 行目	① 地盤反力 <u>は</u>	① 地盤反力 <u>度</u>
p. 553 下 6 行目	・・・より地盤反力 <u>は</u> を求める。	・・・より地盤反力 <u>度</u> を求める。
p. 553 下 5 行目	(a) <u>合力の作用点がミドルサード内にある場合</u>	(a) <u>合力の作用点が底版中央の底版幅 1/3 (ミドルサード) 内にある場合</u>
p. 553 式(9.1.30)	$\left. \begin{array}{l} q_{\max} \\ q_e \end{array} \right\}$	$\left. \begin{array}{l} q_{\max} \\ q_{\min} \end{array} \right\}$
p. 553 下 3 行目	(b) <u>合力の作用点がミドルサード内にある場合</u>	(b) <u>合力の作用点が底版中央の底版幅 2/3 の内にある場合、かつ、底版中央の底版幅 1/3 (ミドルサード) の外にある場合</u>
p. 553 式(9.1.31)	$q_{\max} = \frac{4}{3} \cdot \frac{\Sigma V}{B \cdot 2e}$	$q_{\max} = \frac{4}{3} \cdot \frac{\Sigma V}{B - 2e}$
p. 578 10 行目	ただしこの場合でも、合力作用点の偏心距離 d を算定し、・・・	ただしこの場合でも、合力作用点の偏心距離 e を算定し、・・・